

編集／矢沢地区義務教育学校設立委員会事務局（花巻市教育委員会教育企画課）

矢沢小学校・矢沢中学校の義務教育学校設置の準備を進めるため、11月10日に「矢沢地区義務教育学校設立委員会」が発足し、以後、各専門部会や学校設立委員会における話し合いが進められています。

この「学校設立委員会だより」は、令和10年4月の開校に向けた取組状況を、保護者や地域の皆様にお知らせするために発行するものです。

学校設立に向けた話し合いがスタートしました。

設立総会を開催しました。【令和5年11月10日（金）】

11月10日午後6時から、矢沢中学校新渡戸ホールにおいて、学校設立委員会の設立総会が開催されました。

設立総会では、本総会に至るまでの経緯を全体で確認し、委員会を設立することについて承認いただいたほか、委員長、副委員長及び専門部長、副部長の選出を行いました。また、事務局より、今後矢沢地区義務教育学校の「基本構想」を策定するためのたたき台及び開校までの大まかなスケジュールについて報告があり、未確定な部分も含め、今後各部会で話し合いを重ねて計画的に進めていくことを確認いたしました。

次回、第2回設立委員会の開催は、翌年1月頃を予定しています。

委員長 矢沢中学校 校長 佐々木 律夫

副委員長 矢沢小学校 校長 長山 ゆかり

専 門 部 会

部会名	学校経営	教育課程	PTA	学童クラブ	地域連携	施設・設備	管理・事務
◎部会長 ○副部会長	◎長山ゆかり ○佐々木律夫	◎根澤優美子 ○勝部明美	◎杉本博紀 ○石川和央	◎深澤俊道 ○藤原豊	◎小原久一 ○佐藤信博	◎大森松司 ○伊藤起子	◎高橋美智子 ○鈴木幸司
構成	各校長	各校副校長 教務主任 生徒指導主事	各校PTA役員等	矢沢学童クラブ役員等	地域、教育振興運動の代表、有識者等	振興会役員 PTA役員等	各校事務職員
主な協議事項	・学校名、校章、校歌、校内運営組織、学校の特色等	・教育課程、日課時程表 ・学校行事、児童会、生徒指導、交流学习等	・PTA運営組織 ・通学体制	・学童クラブの運営 ・学童クラブの施設、設備	・地域との連携 ・部活動、スポーツの支援体制 ・コミュニティスクール	・学校設置場所 ・施設・設備の整備	・備品、保存文書の整理



会議の結果や経過などについては、花巻市ホームページ（「矢沢地区義務教育学校設立委員会」の取組）ページでお知らせしてまいります。

お問い合わせは、学校設立委員会事務局（市教育委員会教育企画課 TEL45-1311）まで

義務教育学校ってどんな学校？

問い 矢沢小学校や矢沢中学校はなくなってしまうの？

答え 矢沢地区の義務教育学校は、それぞれの良さを活かしながら矢沢小学校と矢沢中学校がひとつになり、9年制の新しい学校として生まれ変わります。校長先生は1人になってしまうほかは先生方の人数もほぼ変わりません。

また、新しい学校として生まれ変わるため、これまでの「矢沢小学校」や「矢沢中学校」という名前から、新しい学校名を考えていくこととなります。

問い 義務教育学校はどういう特徴がありますか？

- 答え
- ① これまでは小学校は6年生で卒業、中学校は3年生で卒業となりましたが、義務教育学校では1年生から9年生までの学校となります。
 - ② 矢沢小学校と矢沢中学校は今まで別々の場所にありましたが、矢沢地区の義務教育学校はひとつの校舎で1年生から9年生と一緒に学ぶこととなります。
 - ③ 義務教育学校では、小学校で行われていた運動会や学習発表会や、中学校で行われていた体育祭や文化祭などの行事は、1年生から9年生までと一緒に参加する行事にもできますし、別々に行う行事にもできます。今後、先生方を中心に考えていくこととなります。
 - ④ 学習内容については、今までの小学校・中学校とほとんど同じですが、児童生徒の皆さんが分かりやすいように内容の先取りや後回しをすることもありますし、教科によって先生が変わることがあります。
また、地域の歴史や産業などの特色を活かした特別な教科を取り入れることもできます。
 - ⑤ P T Aは、これまで小学校と中学校とに分かれていましたが、義務教育学校ではひとつのP T Aとして活動していくこととなります。今後、それぞれの保護者の方々に活動方針や具体的な活動内容を考えていくこととなります。

問い 小中一貫校とどこが違いますか？

答え 小中一貫校も義務教育学校も、児童生徒の皆さんの9年間を見通した学習を行う学校という点は同じです。しかし、小中一貫校は小学校と中学校がそれぞれで学習を進めますが、義務教育学校は小学校と中学校がひとつになりますから、1人の校長先生のもと、小学校と中学校の先生方が協力して勉強を教えてくださいることとなります。

問い いつから矢沢地区の義務教育学校がスタートしますか？

答え 令和5年度中に児童生徒の皆さんや、保護者の方々、地域の方々のご意見をお伺いして義務教育学校の土台となる考え方の「基本方針」をつくったあとで、校舎などの工事を始め、最短で令和10年度にスタートする予定となっています。

問い 義務教育学校はどこに造られますか？

答え 今使っている小学校や中学校の校舎をきれいに修理すれば、これからも使えるかどうかを調べる作業をしているところなので、その結果によって決まります。

学校を作るにはとても多くのお金が必要になるので、国からより多くのお金の支援を受けられるよう工夫をする必要があります。